科目区分	専門分野Ⅱ	授業科目	母性看護方法論Ⅱ
講師名	医療センター医師	実務経験の有無	有
	大野杏奈先生		
	窪田有紀教員		
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	2年次 後期

目的: 産婦の生理的経過と正常から逸脱した場合の看護を学習する。

目標: 1)分娩の経過と看護が理解できる。

2) 分娩の異常とその看護が理解できる。

3) 妊娠分娩期の看護展開と必要な看護技術が理解できる。

3)妊娠が焼粉の有護展開と必要な有護技術が理解できる。					
回	時	講義内容			
	間				
1. 2	2	ハイリスク妊娠について			
院内	2	子宮内胎児発育不全			
産科講師		子宮内胎児死亡			
3	2	妊娠高血圧、			
院内		妊娠耐糖機能異常			
産科講師		甲状腺機能障害			
4	2	正常分娩、分娩の3要素			
院内					
產科講師					
5 – 1 1	14	分娩期における看護	分娩の要素		
大野			分娩の経過		
			産褥・胎児、家族のアセスメント		
			産褥と家族の看護		
			分娩期の看護の実際		
			分娩監視装置		
		分娩の異常	レオポルド触診法		
			分娩の異常と看護		
12	2	妊婦の看護	演習		
窪田			妊婦体験、母体計測、レオポルド触診法		
			分娩監視装置、分娩期の看護		
13	2	妊娠期の看護	グループワーク		
窪田			妊娠期の事例展開		
14	2	分娩期の看護	グループワーク		
窪田			分娩期の事例展開		
15	2	単位認定試験	筆記試験		
講義方法 (講義 26 時間, 演習 2 時間、単位認定試験 2 時間)		単位認定試験2時間)			
評価方法	評価方法 単位認定試験 筆記試験 100点				

テキスト	母性看護学各論	母性看護学②	医学書院
備考			